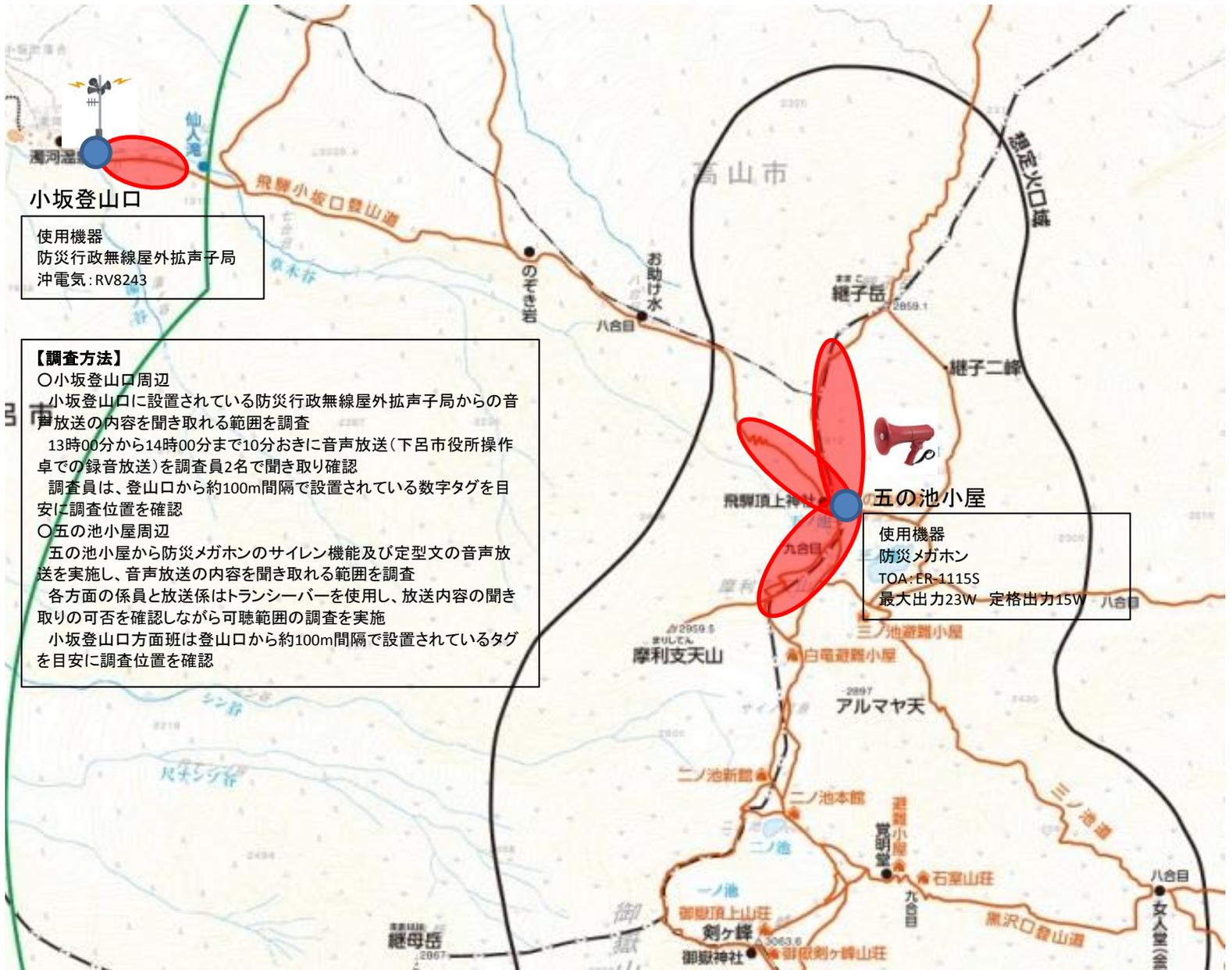


【御嶽山防災情報伝達可能範囲調査】

調査実施年月日	平成28年10月12日(水)
調査時間	12時30分から13時30分
気象条件等	天気:曇り、気温:3度、風速:体感で約5~10m
調査者(登山口周辺班)	江原由佳(下呂市)、川井陽介(下呂市)
調査者(五の池周辺班:放送係)	田口広宣(下呂市)
調査者(五の池周辺班:継子岳方面)	田中知博(高山市)、吉朝誠(下呂市)
調査者(五の池周辺班:摩利支天方面)	小林慎司(岐阜県)、川口耕史(下呂市)
調査者(五の池周辺班:登山口方面)	小窪祐樹(岐阜県)、中川雅規(下呂市)



【調査方法】

○小坂登山口周辺
 小坂登山口に設置されている防災行政無線屋外拡声子局からの音声放送の内容を聞き取れる範囲を調査
 13時00分から14時00分まで10分おきに音声放送(下呂市役所操作卓での録音放送)を調査員2名で聞き取り確認
 調査員は、登山口から約100m間隔で設置されている数字タグを目安に調査位置を確認

○五の池小屋周辺
 五の池小屋から防災メガホンのサイレン機能及び定型文の音声放送を実施し、音声放送の内容を聞き取れる範囲を調査
 各方面の係員と放送係はトランシーバーを使用し、放送内容の聞き取りの可否を確認しながら可聴範囲の調査を実施
 小坂登山口方面班は登山口から約100m間隔で設置されているタグを目安に調査位置を確認

【調査結果】

○小坂登山口周辺
 登山口から約450m地点まで放送内容が聞き取れる(約450m地点では一部聞こえにくいこともあった)
 登山口から約500m~550m地点は放送聞こえない(仙人滝、仙人橋付近は水の音が影響し放送は聞こえない)
 登山口から約800m地点では「音」は聞こえたが内容は聞き取れなかった

○五の池小屋周辺(継子岳方面)
 五の池小屋から継子岳間の概ね3分の2地点まで放送内容の聞き取りができた

○五の池小屋周辺(摩利支天方面)
 五の池小屋から摩利支天乗越まで放送内容の聞き取りができた
 五の池小屋から摩利支天乗越間の概ね5分の4地点ではテスト時に風が強く放送内容が聞き取れなかった

○五の池小屋周辺(登山口方面)
 五の池小屋から約500m地点まで放送内容の聞き取りができた
 五の池小屋から約600~700m地点では放送内容の聞き取りはできないがサイレン音は聞こえた

【考察】
 防災メガホンでの情報伝達範囲は予想以上に広く、五の池小屋周辺のかんりの範囲をカバーできている
 比較的穏やかな気象条件となったが、風の状況により音声放送の可聴範囲は大きく異なることが分かった
 サイレン音は音声放送よりもかなり広い範囲に届くため、活用方法に検討の余地がある
 防災行政無線屋外拡声子局の可聴範囲は予想よりも狭く、森林の中であったり、水の音が影響していると思われる
 屋外拡声子局のスピーカーの角度を山の斜面に合わせて調整することにより可聴範囲が広がる可能性も考えられる